

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 18 年 4 月 7 日	
		作成部署	土木建築部砂防室	
事業名	枝ヶ谷川	構想番号	(土・砂) 構 18-2	
	通常砂防事業	地区名	福知山市山野口地内	
概算事業費	2.0 億円	事業期間	平成18年度 ~ 平成22年度	
事業概要	砂防堰堤 1 基、流路 270 m			
関連する公共事業	該当なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO <sub>2</sub> 排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・当該地周辺は緑豊かな自然環境が残されており、これらへの影響に対して十分な配慮を行う必要がある。	・工事施工箇所において、現地の植生を残す、在来種による植生を行うなどして植生の連続性を保ち、良好な自然環境を可能な限り残すものとする。	△
	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・工事の際には、工事車両が通行することにより、騒音・排ガスが増加する可能性があり、極力制限する必要がある。	・構造物の工法選定に際して、工事車両の台数を減らすなど騒音、排気ガスを減少させるものとする。	△
	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・施工地周辺には、里山的自然景観などが残されており、これらへの影響に対して十分な配慮を行う必要がある。	・構造物の材料・工法選定に際して、間伐材、現地採取材料を使用するなど自然的な景観との調和したものとする。	△
地域の環境像	事業実施により、地域住民の安心・安全を確保するとともに自然景観の保全に努める。			
特記事項	特記事項なし			

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)